

「高知市へ編入された戦前の17町村役場跡地の現地比定」

清水 謙次郎

1、はじめに

近年、市町村の合併が全国各地で行われ、大きな自治体に合併吸収してもらい財政再建を図る地方自治体がある。財政赤字で悩む自治体の多くが合併を余儀なくされ、地名変更等でできた自治体が何処の県にあるか分からず戸惑う事もある。都市部への一極集中がさらに追い打ちをかけ、農林水産業の衰退や人口減少等で合併編入はやむをえない現状にある。当地高知県もご多分に漏れず、国の財政支援無くして行政運営は困難だ。明治時代に入り大正、昭和、平成と市町村合併は進みどれだけの町村が消えていった事か。合併編入の度に役場は消えていくが、消えた村や町の役場は何処にあったか。

町歩きを趣味にしていた私は、高知市内各地の史跡を歩いて訪ね、市内数箇所で開催碑を目にした事で、役場跡地に興味を持った。高知市に合併編入した町村役場で旧潮江村(写真1)、旧一宮村(写真2)、旧高須村(写真3)、旧五台山村(写真4)の4地域に合併記念碑が建立されている。旧小高坂村には合併記念支柱(2基、写真5・6)が山ノ端町、大膳町にそれぞれ残されているが、他の地域では確認できなかった¹。地域の中心だった役場の所在すら分からず忘れられてしまうのは忍びない。「せめて高知市合併編入の昭和17年以前の役場でも記憶に残したい」「小さな記憶遺産になれば」との想いで、大正6年以降に高知市と合併した戦前の17町村役場所在地を探索、現地比定したのが本稿である。

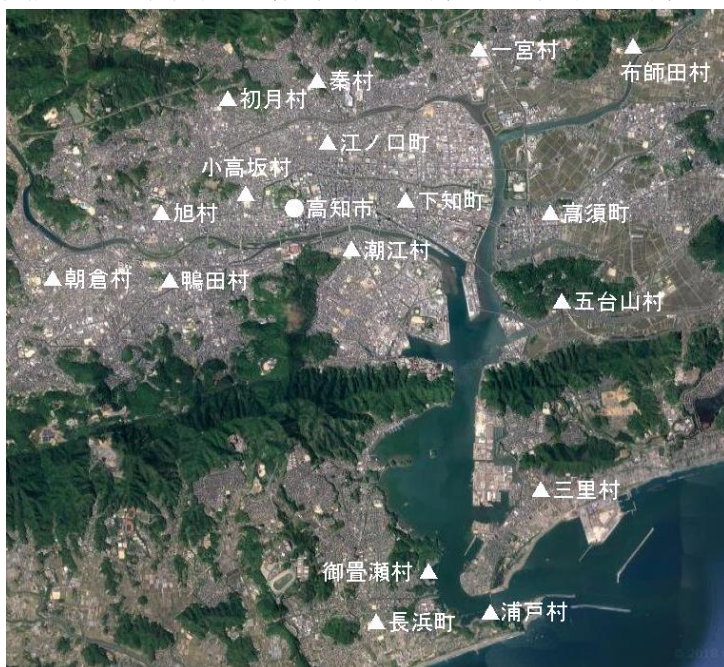


図1 戦前の旧高知市18町村 (Google マップをもとに作成)



写真1 旧潮江村の合併記念碑 (天神町)



写真2 旧一宮村の合併記念碑 (高知市一宮中町)



写真3 旧高須村合併記念碑（高須本町）



写真4 旧五台山村合併記念碑（五台山）



写真5 旧小高坂村合併記念支柱（山ノ端町）



写真6 旧小高坂村合併記念支柱（大膳町）

2、高知市合併の系譜

まず、『高知市史』（1973）から戦前の高知市合併の経緯を見てみよう（表1）。まず明治22年に大手筋・鷹匠町・升形・本町・東唐人町・九反田・菜園場町・種崎町・新町田渕・山田町など現高知市中心部の町が合併し、高知市が生まれる。大正6年に江ノ口町、大正14年に旭村、鴨田村の一部・下島、大正15年に下知町、潮江村も高知市に編入。昭和2年には小高坂村、昭和10年に初月村と秦村、昭和17年に朝倉村、浦戸村、御豊瀬村、長浜町、三里村、五台山村、高須村、一宮村、布師田村、昭和22年に鴨田村が編入され、計18市町村が合併した高知市ができる（表1）。その後、昭和47年に大津村・介良村、平成17年に土佐山村・鏡村、平成20年に春野町を編入合併し、現在の高知市（面積309.22k㎡）ができあがった。

旧役場跡地はその後も支所として利用された場合もあるが、大正6年の合併から100年が経過した今では建物は現存していない。役場跡の碑は残されておらず、合併記念碑と役場跡の場所が一致していないことからその所在を現地で確認する方法はない。

表 1 高知市町村合併の系譜（明治 22～昭和 22 年）

合併年	旧市町村名	合併編入町村
明治22年	高知市	大手筋・廿代町・西唐人町・朝倉町・片町・南新町・南与力町・北新町・八軒町・鉄砲町・鷹匠町・中新町・中島町・掛川町・金子橋・浦戸町・升形・本町・堺町・八百屋町・帯屋町・要法寺町・本与力町・農人町・西弘小路・東唐人町・北門筋・広岡町・永国寺町・囃喉場・北与力町・九反田・新市町・南奉公人町・廿代筋・田淵・菜園場町・種崎町・北奉公人町・細工町・築屋敷・新町田淵・通町筋・紺屋町・水道町・蓮池町・本町筋・山田町・材木町
大正6年	江ノロ町	江ノロ村、大川筋・比島村
大正14年	旭村	旭村
大正15年	下知町	下知村
	潮江村	潮江村
昭和2年	小高坂村	小高坂村
	秦村	三谷村・秦泉寺村
昭和10年	初月村	久万村・円行寺村・柴巻村・万々村
昭和17年	朝倉村	朝倉村、十六村の一部（大字宗安寺・行川・針原・上里・領家・唐船）
	浦戸村	浦戸村
	御畳瀬村	御畳瀬村
	長浜町	長浜村・瀬戸村・横浜村・藻洲潟村
	三里村	種崎村・仁井田村・池村
	五台山村	五台山村・吸江村・屋頭村
	高須村	高須村
	一宮村	一宮村・薊野村・久礼野村・重倉村
布師田村	布師田村	
昭和22年	鴨田村	鴨部村・神田村

3、現地比定の方法

2015年に始めた旧17町村の役場跡地の現地比定は、文献調査と現地踏査、法務局での登記調査、古地図（『大日本帝国陸地測量部 明治33・39・42年製版』）の確認などをもとに行った。しかし、古地図に記された役場の位置を確定できる文献資料をうまく見つけることができず、自分の調べ方に問題はないか自問自答し、途中中断することもあった。昭和20年の太平洋戦争高知空襲、21年の南海地震津波、45年台風10号による水害等の被害で多くの書物や文庫、古文書等が消失しており、文献探しには苦勞した。また、合併編入時の記録は当然あるが、役場の住所地は記されておらず、場所の特定は難しかった。

まず、役場跡地の大方の場所は古い地図を調べることで、目安は付いた。さらに図書館やふれあいセンター、小学校や地元民にも協力ご指導を賜るうちに、地図上の役場は殆んど小学校に隣接していた事が分かった。小学校の記念誌等の資料から大方の場所は判明したが、合併年は江ノロ町が大正6年、旭村・鴨田村（一部下島）が大正14年、下知町、潮江村が大正15年と1世紀近く前のため記録は少ない。中でも江ノロ、旭、下知は特に情報が乏しかった。『大日本帝国陸地測量部』の古地図に記された役場マーク全てが正確とは言えず、各小学校の記念誌といった文献資料や住民の証言、法務局での土地登記調査などから総合的に判断して旧役場跡の場所を比定した。

4、17町村役場比定地を歩く

次に17町村の役場跡の現地比定について説明する。以下、合併順に町村役場比定地を現在（2018年2月）の写真、比定根拠とともに紹介する（表2）。

表2 17 町村役場の比定地と参考資料一覧

役場名	跡地・建物等	位置	現在の住所	参考文献	備考
江ノロ町	江ノロコミュニティセンター ※四国銀行愛宕支店跡地	北緯33.566302 東経133.536383	愛宕町1-192	『旧江ノロ公民館のあゆみ』 『私の江ノロ』『江ノロ小学校百年のあゆみ』	元土佐婦人会「三葉寮」 ※浜川金兵衛氏私有地
旭村	中須賀町自治会公園周辺	北緯33.557755 東経133.509700	中須賀町107-110	『旭小学校の百年』	J R 旭駅前東と記録があるが、明確な資料は見当たらない。渋谷内科医院周辺、『旭小学校の百年』の写真を参考に判断した。
下知町	元下知保育園辺り ※ヤフー株式会社高知センター、三谷組の裏辺り	北緯33.559432 東経133.554327	中宝永町4-9	『土佐電鉄八十八年史』	『土佐電鉄八十八年史』の写真と法務局での土地登記調査で確認。現在保育園跡地は集合住宅になっている。
潮江村	高知市消防団潮江分団屯所	北緯33.551716 東経133.541785	塩屋崎1-5-12	『潮江村誌』	消防分団の隣、潮江公民館・潮江西の丸公園前。絵図および法務局での土地登記調査で確認。
小高坂村	高知市小高坂会館	北緯33.558877 東経133.523819	大膳町1-30		小高坂会館内に関勉氏の撮った写真が残してある。法務局の土地登記調査でも確認。
秦村	高知市消防団愛宕分団奥 ※秦小学校児童クラブ	北緯33.577840 東経133.535149	愛宕山18 (秦小学校) ※愛宕町18-1	『秦小学校の百年の歩み』	
初月村	J A 高知市初月支所駐車場	北緯33.574920 東経133.518106	万々387-2	『高知市立初月小学校創立百周年記念誌』『郷土資料』(初月小発行)	初月小学校前の久万川柿内橋横
朝倉村	朝倉小学校内プール	北緯33.546769 東経133.487685	朝倉本町2-11-20	『母校百年 朝倉小学校』	
浦戸村	桂浜公民館	北緯33.498852 東経133.568253	浦戸274-9	『浦戸小の百年』『吾南の名勝』	桂浜排水ポンプ場隣奥、新浦戸大橋の真下
御畳瀬村	高知市消防団御畳瀬分団屯所	北緯33.504784 東経133.556156	御畳瀬249-2	『ふるさと御畳瀬』『吾南の名勝』	御畳瀬の大時計・ふれあいセンター等がある
長浜町	長浜小学校プール南東、高知市防災倉庫	北緯33.499132 東経133.546329	長浜4811 (長浜小)、長浜4727-3	『百年のあゆみ 長浜小学校』	高知市防災倉庫の前に支所の門柱が残る
三里村	高知市消防団仁井田分団車庫	北緯33.517249 東経133.579352	仁井田1536-5	『三里地区史跡報告』『目で見る三里のこども』	道路反対側に仁井田神社の参道、鳥居がある
五台山村	五台山小学校	北緯33.543284 東経133.579196	五台山3371	『ふるさと五台山 五台山・高知市合併50周年記念誌』	五台山ふれあいセンター前に合併記念碑ある
一宮村	一宮ふれあいセンター	北緯33.583722 東経133.569224	一宮中町1-5-20	『一宮未来に翔る 一宮村・高知市合併50周年記念誌』	ふれあいセンター敷地内に合併碑がある
高須村	J A 高知市高須支所	北緯33.559657 東経133.580725	高須本町4-9	高須小学校蔵「町内地図」	J A 前に合併碑がある
布師田村	J A 高知市布師田支所	北緯33.583434 東経133.595273	布師田1616-1	『布師田小学校百年のあゆみ』『ふるさと布師田』	
鴨田村	鴨田小学校プール東南側	北緯33.546465 東経133.507919	鴨部1214	『鴨田教育資料篇』『鴨田小百年誌』、鴨田地区町内地図(個人蔵)	中山正男氏の宅地も旧役場跡地の一部と思われる。

(1) 江ノロ町 (図2、写真7)

役場跡地は、明治42年の古地図(図2)から推測すると、国道66号沿いの江ノロコミュニティセンター(写真7)と隣接する四国銀行愛宕支店等を含む辺りに比定できる。江ノロ小学校の記念誌『江ノロ小

『学校 百年のあゆみ』に記述されている数人の回顧録の文章から場所を推定すると、中水道地域を含む場所に江ノロ小学校があり、その門の東隣に江ノロ町役場があったようである。跡地は一時、土佐婦人会の三葉寮（浜川金兵衛氏私有地）となっていた。



図 2



写真 7

(2) 旭村役場跡地 (図 3、写真 8)

明治 42 年の地図上 (図 3) では大まかな位置しか分からなかったが、JR 旭駅前にある JA 旭販売所・毎日屋の東側に「旭尋常小学校」と「旭村役場」があったことが、記念誌『旭小学校の百年』の中の写真から分かった。尋常小学校、役場ともに現地に痕跡はないが、地元の証言等も踏まえ、跡地は中須賀町自治会公園辺り (写真 8、渋谷内科医院周辺) であると推測される。『旭小学校の百年』には、作家・田岡典夫氏らの思い出話から、学校の存在は確認できるが、役場に関する記述は見当たらない。資料的な裏付けがなく、確認出来る資料があれば是非提供していただきたい。



図 3

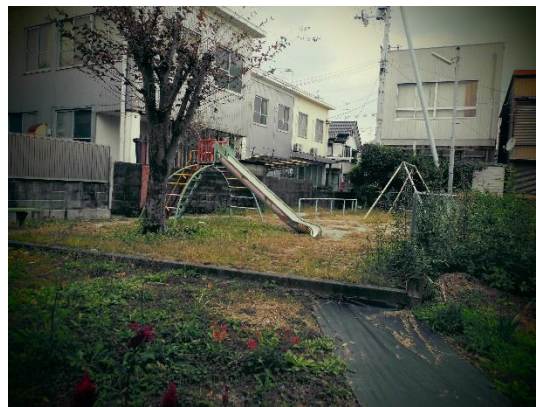


写真 8

(3) 下知町役場跡地 (図 4・5、写真 9)

明治 42 年の古地図 (図 4) など複数の地図で役場の表記場所が異なり、判然としなかったが、『土佐電鉄八十八年史』記載の絵 (図 5、大黒竹夫画) から電車通り北側に下知町役場があり、その裏に下知尋常小学校校舎があったことが分かる。また、当時の土地登記も確認した上で、役場跡地は土佐電交通電停「中

宝永町」北側の元下知保育園周辺（写真9、株式会社ヤフー高知センターと三谷組の裏）に比定した。



図4

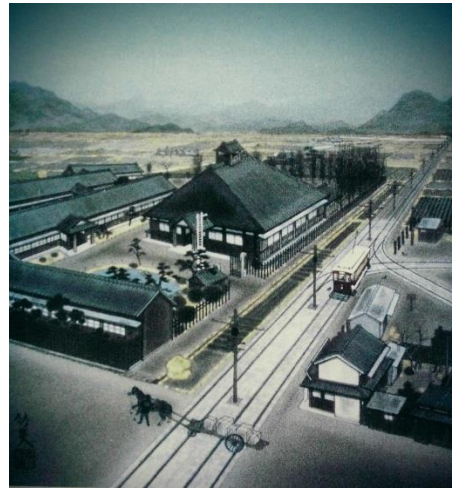


図5



写真9

（4）潮江村役場跡地（図6、写真10）

潮江村役場は明治24年の古地図では、潮江橋南西の「上町」に役場のマークが確認できるが、大正10年の「高知市街図」（図6）では塩屋崎町の周辺に役場マークが確認できる。『潮江村誌』によると、役場はもともと善法寺²西隣にあったが明治21年上町大越戸内三千九百九十八番地に移転。明治41年に潮江尋常小学校の塩屋崎町移転とともに役場も移転改築され、大正8年には学校の増築とともに村公会堂の東隣に



図6

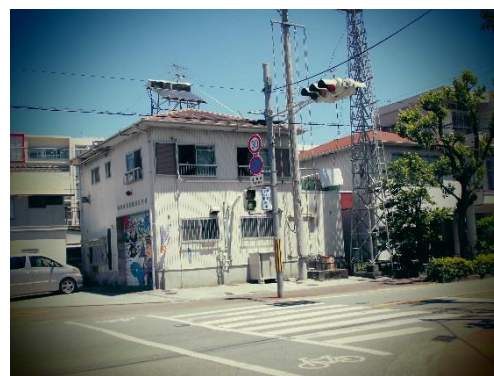


写真10

改築されたという。大正 10 年の古地図の役場位置および『潮江村誌』の記述、法務局の土地登記の確認から、塩屋崎町の高知市消防団潮江分団屯所（写真 10）・潮江中央公民館付近に役場跡地を比定した。

（5）小高坂村役場跡地（図 7、写真 11・12）

明治 42 年の古地図（図 7）から大膳町周辺に役場跡地があり、これは現在の小高坂会館（写真 11）周辺に比定できる。合併後、昭和 40 年頃まで役場支所として使われていた。また、小高坂会館内に掲示されている関勉氏撮影の古写真（写真 12）から、役場跡の建物が戦後小高坂会館として使用されたことが分かる。会館前には旧高知師範学校跡だった大膳公園もある。



図 7



写真 11



写真 12

（6）秦村役場跡地（図 8、写真 13）

明治 42 年の古地図では、愛宕山の西側に役場マークが確認できる（図 8）。『秦小学校の百年の歩み』には、役場の下に崖があると記されている。住民への聞き取りを含めて現地を確認すると、高知市消防団秦分団屯所奥にある秦小学校敷地内児童クラブが崖の上に建っており（写真 13）、ここが役場跡地であったと比定した。



図 8



写真 13

(7) 初月村役場跡地 (図9、写真14)

明治42年の古地図では、久万川沿いに役場マークが確認できる(図9)。初月小学校八校の『郷土資料』に「村役場ハ久万字柿内ニアリテ初月村役場ト称ス」とある。JA高知市初月支所にあった町内地図も参照して、住民への聞き取りも含めて現地で確認した結果、役場跡地は初月小学校前の久万川に架かる柿内橋(写真14)横のJA初月隣駐車場周辺に比定した。

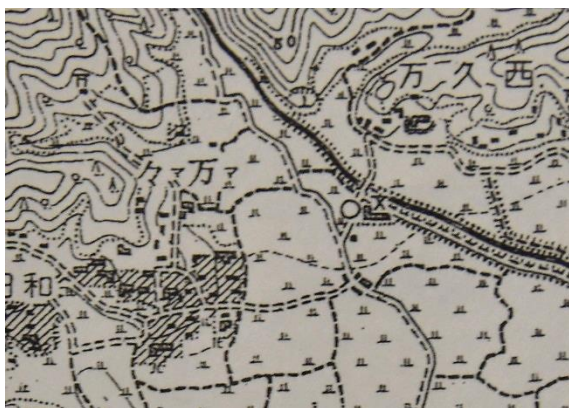


図9



写真14

(8) 朝倉村役場跡地 (図10、写真15)

明治33年の古地図では、歩兵第44連隊兵舎と練兵場の間に役場マークが確認でき、小学校も隣接して確認できる(図10)。『母校百年 朝倉小学校』の付図に役場位置が記載されている。当時の役場は、朝倉小学校東側に隣接してあった。現地で確認すると、写真15右奥のプールがある辺りが役場跡地に比定できる。周辺の土地登記を調べてみると、昭和17年の高知市合併時に役場跡の敷地は朝倉小学校の土地になっている。合併後の高知市朝倉支所は60m東にある現朝倉ふれあいセンター・図書館がある場所にあったようだ。



図10



写真15

(9) 浦戸村役場跡地 (図11、写真16・17)

明治39年の古地図では、浦戸湾沿いに役場マークがある(図11)。また、『吾南の名勝』記載の「長浜町御豊瀬浦戸二村略図」も参照にして、現地で確認すると、新浦戸大橋の真下で、手前は勝浦浜排水ポンプ

場の番小屋（写真 16）裏にある現在桂浜公民館（写真 17）が役場跡地に比定できる。住宅地図を確認すると、役場はその後保育園となり、その後公民館となった。地図の記載などを見ると、桂浜は当時「勝浦浜」と呼ばれていたようだ。



図 11

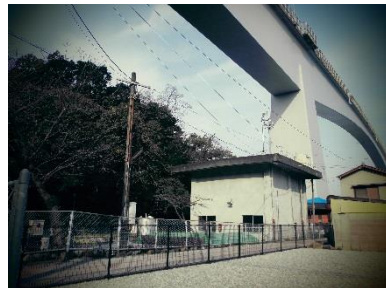


写真 16



写真 17

(10) 御豊瀬村役場跡地（図 12、写真 18）

明治 39 年の古地図では、浦戸湾沿いに役場マークがある（図 12）。『ふるさと御豊瀬』に御豊瀬尋常小学校が後に村役場になり、現在は消防屯所となっていることが記されている。高知市消防団御豊瀬分団屯所（写真 18）を役場跡地に比定した。『吾南の名勝』記載の「長浜町御豊瀬浦戸二村略図」も参考にした。周辺には、地元青年団や住民の寄付金で造られた昭和天皇成婚記念の大時計が残されている。

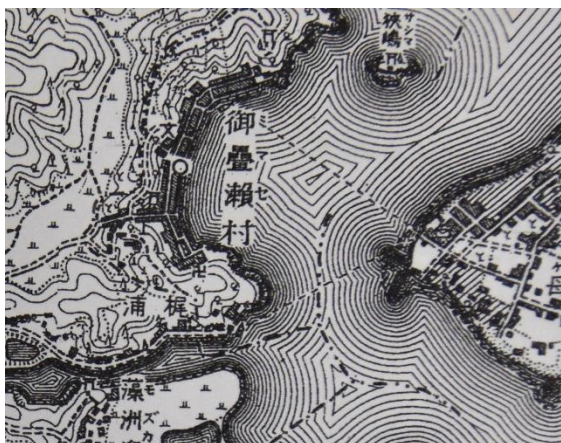


図 12



写真 18

(11) 長浜町役場跡地（図 13、写真 19）

明治 39 年の古地図では、新川川沿いに役場マークがあり、小学校も隣接している（図 13）。現在、長浜

小学校隣の高知市防災倉庫がある場所に「高知市長浜支所」と書かれた石製の門柱が残る（写真 19）。『百年のあゆみ 長浜小学校』の長浜小の学舎配置図（昭和 6 年当時）から、役場周辺に学校・農業実習地・農舎などがあったことが分かる。これらの記述と門柱から高知市防災倉庫がある敷地を役場跡地と比定した。



図 13



写真 19

(12) 三里村役場跡地（図 14、写真 20・21）

明治 42 年の古地図では、三里の集落内に役場マークがある（図 14）。『三里地区史跡報告』に高知市三里支所が写った写真（写真 20）が複数載っている。東側から見た仁井田神社鳥居と支所が写った写真などから、現地で位置関係を確認し、高知市消防団三里分団屯所（写真 21）を役場跡地と比定した。



写真 20



図 14



写真 21

(13) 五台山村役場跡地（図 15、写真 22・23）

明治 42 年の古地図では、下田川沿いの山裾に役場マークが確認できる（図 15）。『ふるさと五台山 五台山・高知市合併 50 周年記念誌』に昭和 14 年頃の学校・役場を写した写真がある（写真 22）。周辺の風景などから

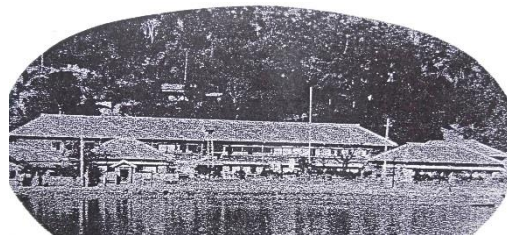


写真 22

五台山小学校がある敷地の西側に村役場があったと比定した（写真 23）。



図 15



写真 23

(14) 一宮村役場跡地（図 16、写真 24）

明治 42 年の古地図では、道路沿いに役場マークがある（図 16）。『一宮未来に翔る 一宮村・高知市合併 50 周年記念誌』に、「一宮ふれあいセンター」がある場所に、役場と役場支所があったことが記されており、センターが役場跡地であることを確認した（写真 24）。



図 16



写真 24

(15) 高須村役場跡地（図 17、写真 25）

明治 42 年の古地図では、舟入川南の山裾に役場マークがあり、小学校も隣接している（図 17）。現地で



図 17



写真 25

確認すると、高須本町の電車通り沿いにあるJA高知市高須支所に合併碑が建立されている。高須小学校に戦後すぐの町内地図が所蔵されており、地図に現在JA支所がある場所に高知市高須支所が記載されていることから、役場跡地として比定した（写真25）。

(16) 布師田村役場跡地（図18、写真26）

明治42年の古地図では、布師田橋北東の山裾に役場マークがある（図18）。『布師田小学校百年のあゆみ』に、布師田村役場の建物は産業組合との合同庁舎だったことが記されている。また、布師田御殿跡案内板に小学校跡の写真が載っており、その写真と『布師田小学校百年のあゆみ』記載の周辺地図を現地で確認し、同支所に役場跡を比定した（写真26）。



図18



写真26

(17) 鴨田村役場跡地（図19、写真27）

明治42年の古地図では、能茶山の南、小学校横に役場マークがある（図19）。1953年発行の『鴨田教育』に鴨田小学校プール南東側（現在は無い）に役場があったと書かれている。『鴨田小百年誌』の校舎配置図と写真を見ると、明治20年頃には学校と並行して役場の門があったことが分かる。明治30年代も同様に同じ敷地内にあったが、大正6年に吏員の死亡が相次ぎ、学校の外側（東側）に移った。そのため、戦前（昭和19年）の学校内の配置図には役場が記載されていない。プール跡地は、現在鴨田小の駐車場に



図19



写真27

なっており、当時の町内地図でもプールの位置が現在の駐車場になっていること確認した。また、能茶山自治会長を務めた中山正男氏への聞き取りで、駐車場と中山氏の住宅一帯が以前役場であったことが確認でき、この場所を役場跡地と比定した（写真 27）。その他の住民の通学時の記憶からも、学校東側に役場があったことを確認できた。

6、おわりに

本稿では、戦前の旧高知市 17 町村役場は何処にあったか？現在の役場跡地はどうなっているか？を探ってきた。当初は県庁や市役所、図書館等で調べれば簡単に分かると思ったが、十分な情報や資料はなく、全てを比定するまでに約 3 年の月日を要した。その結果、旧町村役場はほとんどが小学校に隣接し、現在も小学校の隣接地となっている場所が多いことが分かった。また、法務局で役場跡地の土地登記の変遷を確認すると、個人の私有地を借用して役場として使った場所も多く、後に村町が買い取るケースもあったようだ。役場跡地は合併後、JA の支所や消防分団屯所となっているケースが多く、ほとんどは公共用地として活用されたことが分かった。

調査は、住民や図書館職員ら多くの方々の協力が無ければ途中で頓挫していたと思う。戦前最後の合併から 75 年以上が経過し、現地を歩くと周辺の景観は大きく変貌しており、役場跡地の記憶がある人は非常に少なく、時の流れを感じた。特に、土地区画整理事業が計画されている旭地域では、下島地区、中須賀地区の街は、今後一変してしまうだろう。旧旭村役場は中須賀地区に当たるが、毎回街を通る度 1 軒、2 軒と消えてゆく家屋を見て、今後ここはどんな街になるだろうと考えてしまう。昔小学校があった場所さえ知らない旭町の住民が多くいるのだから、役場跡地などももちろん忘れ去られてしまっている。また、江ノ口・下知地域でも当時の役場を知らない住民がほとんどだった。

役場という地域の政治・経済・文化の中心を担った場所が、合併によって周縁となって変貌し、数十年が経過するとその存在すら忘れられてしまう。地域の中心だった役場跡地という空間を記録する本稿の試みを、小さな「記憶遺産」として広く共有していただけたら幸いである。

なお、調査成果は地理情報システム（GIS）の機能を使ってホームページ「高知工大フィールドデータベース」(<http://fdb.kochi-tech.ac.jp/>) で近く公開を予定している。

【註】

- 1 本稿の対象時期ではないが、昭和 47 年に合併した大津村、介良村には合併記念碑が建てられている。
- 2 『潮江村誌』によると、善法寺は明治 32 年秋の暴風雨で倒壊し、吾川郡池川村（現仁淀川町）へ移転している。

【参考文献】

- 朝倉小学校創立百周年記念事業実行委員会 1975 『母校百年朝倉小学校』
- 一宮村・高知市合併 50 周年記念事業実行委員会文化部編 1992 『一宮未来に翔る一宮村・高知市合併 50 周年記念誌』
- 大久保千濤編 『吾南の名称』 若宮八幡宮社務所
- 江ノ口小学校創立百周年記念事業実行委員会編 1974 『江ノ口小学校百年のあゆみ』

門田武久 1977 『ふるさと五台山を歩く』
門田武久 1985 『ふるさと布師田』
鴨田小学校編 1953 『鴨田教育資料篇』
高知市江ノロコミュニティーセンター運営委員会 2009 『旧江ノロ公民館のあゆみ』
高知市史編纂委員会編 1985 『稿本高知市史 現代編』
高知市史編さん委員会絵図地区部会編 2012 『描かれた高知市』
高知市役所編 1973 『高知市史』 名著出版
高知市立旭小学校記念誌編集委員会編 1974 『旭小学校の百年』
高知市立浦戸小学校編 1974 『浦戸小の百年』
高知市立高須小学校 1972 『やなぎ 創立百周年記念誌』
五台山・高知市合併 50 周年記念事業実行委員会文化部編 1992 『ふるさと五台山 五台山・高知市合併 50 周年記念誌』
重松実男 1957 『(稿本) 高知市史』 高知市役所
長浜小学校創立百周年並校舎落成記念事業実行委員会編 1977 『百年のあゆみ 長浜小学校』
西本明四編 1929 『潮江村誌』
秦小学校創立百周年記念事業実行委員会編 1977 『秦小学校の百年の歩み』
八十八年史編纂委員会編 1991 『土佐電鉄八十八年史』 土佐電気鉄道
浜川金兵衛 1981 『私の江ノロ帖』
百周年記念誌編集委員会編 1992 『布師田小学校百年のあゆみ』
三里史調査委員会編 1993 『三里地区史跡報告』 高知市教育委員会
三里小学校開校百年記念誌編集委員会編 1981 『目で見える三里のことども 高知市立三里小学校開校百年記念誌』
初月小学校百周年記念事業実行委員会編集部編 1978 『高知市立初月小学校創立百周年記念誌』
御豊瀬小学校開校百年誌編纂実行委員会編 1983 『ふるさと御豊瀬』